

# N呼吸器専門医養成コース

(以下のN呼吸器専門重点コースからなる)

- 6N 呼吸器専門医全般コース
- 9N 呼吸器感染症専門医コース
- 12N 呼吸器がん薬物療法専門医コース
- 7N 呼吸器内視鏡専門医コース
- 10N 呼吸器Infection Control Doctor養成コース
- 13N 呼吸器睡眠医療認定医コース
- 8N 呼吸器アレルギー専門医コース
- 11N 呼吸器がん治療認定医コース
- 14N 呼吸器・総合内科専門医コース

## ■ コース概要

### ● コースの全体像

本コースは卒後臨床研修を修了した医師を対象とし、呼吸器専門医 $\alpha$ を養成する6年間のコースを基本とする。呼吸器全般、アレルギー、感染症、気管支鏡、がん薬物療法、総合内科の各専門医、がん治療、睡眠医療認定医及びICDの取得を目指す9つのコースから選択し、大学院及び各学会認定施設において、呼吸器専門医研修と併行して研修する。1年目は内科学会認定教育施設で内科研修を行い、認定内科医を取得する。2年目に、大学院呼吸器内科学分野に進み基礎・臨床研究を行うコースと、医員として大学病院で呼吸器内科研修を行うコースのいずれかを選択する。4年目には全員が大学病院で、5・6年目は連携する呼吸器学会及び各自が選択したコースの学会認定施設において、呼吸器内科研修と重点コースの研修を併行して行う。呼吸器内科研修を継続した場合は4年目終了時に、基礎研究を2年間行った場合は6年目終了時に、呼吸器専門医取得が可能となる。



### ● コースの指導状況

大学病院及び連携病院の指導医は全て呼吸器専門医である。また、新潟大学病院6名、新潟市民病院2名、県立がんセンター新潟病院1名、県立新発田病院1名、国立病院機構西新潟中央病院2名、長岡赤十字病院1名、県立中央病院1名が呼吸器学会認定指導医の資格を有している。指導医の常動していない病院には、大学病院指導医が年複数回巡回し指導に当たっている。さらに、その他の専門性の高い専門医、指導医も複数在籍している。

## ■ N呼吸器専門医養成コースで取得可能な専門医

専門医	N専門重点コース
認定内科医 【日本内科学会】 ▶ 2-1	6N 呼吸器専門医全般コース 8N 呼吸器アレルギー専門医コース 9N 呼吸器感染症専門医コース 11N 呼吸器がん治療認定医コース 12N 呼吸器がん薬物療法専門医コース 14N 呼吸器・総合内科専門医コース
総合内科専門医 【日本内科学会】 ▶ 2-5	14N 呼吸器・総合内科専門医コース
呼吸器専門医 【日本呼吸器学会】 ▶ 2-63	6N 呼吸器専門医全般コース
アレルギー専門医 【日本アレルギー学会】 ▶ 2-77	8N 呼吸器アレルギー専門医コース
感染症専門医 【日本感染症学会】 ▶ 2-79	9N 呼吸器感染症専門医コース
がん薬物療法専門医 【日本臨床腫瘍学会】 ▶ 2-121	12N 呼吸器がん薬物療法専門医コース
Infection Control Doctor 【ICD制度協議会】 ▶ 2-139	10N 呼吸器 Infection Control Doctor 養成コース
がん治療認定医 【日本がん治療認定医機構】 ▶ 2-141	11N 呼吸器がん治療認定医コース
気管支鏡専門医 【日本呼吸器内視鏡学会】 ▶ 2-151	7N 呼吸器内視鏡専門医コース
睡眠医療認定医 【日本睡眠学会】 ▶ 2-155	13N 呼吸器睡眠医療認定医コース

## ■ N呼吸器専門医養成コースの研修施設

施設名	N専門重点コース
▶ 3-1 新潟大学医学部総合病院	6N 7N 8N 9N 10N 11N 12N 13N 14N
▶ 3-5 秋田大学医学部附属病院	— — 8N — — — — —
▶ 3-7 琉球大学医学部附属病院	— — — 9N — — — — —
▶ 3-9 国立病院機構西新潟中央病院	6N 7N — 9N 10N 11N — 13N —
▶ 3-15 新潟県立中央病院	6N 7N 8N 9N — 11N 12N 13N 14N
▶ 3-18 新潟県立柿崎病院	6N — — — — — — —
▶ 3-25 新潟県立吉田病院	— — 8N — — — — — 14N
▶ 3-27 新潟県立がんセンター新潟病院	6N 7N — — — 11N 12N — 14N
▶ 3-29 新潟県立新発田病院	6N 7N 8N 9N — 11N 12N 13N 14N
▶ 3-33 新潟市民病院	6N 7N 8N 9N 10N 11N — — 14N
▶ 3-37 長岡赤十字病院	6N — 8N 9N 10N 11N 12N — 14N
▶ 3-41 済生会新潟第二病院	6N 7N 8N 9N — 11N — 13N 14N
▶ 3-44 新潟県厚生連糸魚川総合病院	6N 7N 8N 9N 10N 11N 12N 13N 14N
▶ 3-46 新潟県厚生連上越総合病院	6N — — — — — 13N —
▶ 3-47 新潟県厚生連刈羽郡総合病院	6N — — — — — — —
▶ 3-51 新潟県厚生連長岡中央総合病院	6N 7N 8N — — 11N 12N 13N 14N
▶ 3-57 新潟県厚生連村上総合病院	6N 7N 8N 9N 10N 11N 12N 13N 14N
▶ 3-59 新潟県厚生連佐渡総合病院	6N — 8N — — — — 13N —
▶ 3-67 小千谷総合病院	6N 7N 8N 9N 10N 11N 12N 13N 14N
▶ 3-84 南部郷総合病院	6N — — — — — — —
▶ 3-89 鶴岡市立荘内病院	6N — — — — — — —
▶ 3-93 栃木県厚生連下都賀総合病院	6N 7N 8N 9N 10N 11N 12N 13N 14N
▶ 3-96 埼玉県済生会川口総合病院	6N — — — — — — —

● 連絡先

新潟大学医学総合病院  
腎・高血圧内科、呼吸器内科、感染症内科、膠原病内科、心療内科(第二内科)  
准教授 高田俊範 総括医長 各務 博  
TEL:025(227)2200 FAX:025(227)0775

E-mail: ttakada@med.niigata-u.ac.jp または hkagamu@med.niigata-u.ac.jp  
HP URL: http://www.med.niigata-u.ac.jp/in2/welcome.html



新潟大学医学総合病院  
腎・高血圧内科、呼吸器内科、  
感染症内科、膠原病内科、  
心療内科(第二内科)准教授  
高田俊範



新潟大学医学総合病院  
腎・高血圧内科、呼吸器内科、  
感染症内科、膠原病内科、  
心療内科(第二内科)講師  
各務 博

■ プログラム

● 専門研修の特色

一人前の呼吸器内科医になるためには、1、胸部レントゲン、CTの正確な読影、2、患者様に苦痛を与えない気管支鏡検査、3、非侵襲陽圧呼吸を含めた人工呼吸器の使用と全身管理、4、症例に応じた適切な抗生物質の選択、5、心理的ケアを含めた肺癌診療、のすべてを習得することが必要です。臨床の現場では誤嚥性肺炎などは院内のどの病棟でも発症しますし、ICUには一年を通じてほぼいつでも呼吸不全の患者様がいます。ですから当施設では、これら

全ての研修を、腎・高血圧内科、呼吸器内科、感染症内科、膠原病内科、心療内科(第二内科)病棟のみならず院内すべての病棟で、大勢の指導医がよってたかって「徹底的に」指導します。また当科は、腎疾患や糖尿病、高血圧症、膠原病を治療対象疾患として扱っているために、それら各種疾患に関連しておこる呼吸器疾患の診断・治療の経験も研鑽することが可能です。さらにいわゆる general medicine の修得も行うことができます。



● 専門研修プログラムの概略

特色でも書いてあるように、一人前の呼吸器内科医になるには専門的な研修が必要です。本コースは原則として、一般内科後期研修、呼吸器内科前期(呼吸器全般研修)・中期(subspecialty 研修)・後期(専門応用研修・後輩指導)研修、および大学院医学総合研究科呼吸器内科学分野または臨床感染制御学分野での基礎ないしは臨床研究に分けられます。

Aコースでは、専門研修の初年度に一般内科後期研修を1年間行った後、当科医員等として呼吸器内科前期研修を開始します。医員等に在職しながら社会人大学院特別選抜で大学院に入学し、同時に認定内科医を取得します。3、4年目は基礎研究(学内外の基礎研究室へ出向)ないしは臨床研究(当教室)を行います。専門研修開始後5年目から当科で中期研修、関連病院で後期研修を受け、専門医資格の取得が可能となります。Bコースは、一般内科後期研修と呼吸器内科前期研修を1年間行った後、大学院に正規入学、基礎教室(国内留学も含む)に2年間出向します(この間に認定内科医を取得)。その後、当科で中期、関連病院で後期研修を行い、専門医資格を取得します。Cコースは、専門研修開始後の2年間当科と関連病院で一般内科後期研修、呼吸器内科前期研修を行い、引き続き中期研修(2年間)を行うと同時に大学院に進学(社会人入学)します。その後は関連病院にて中期、後期研修とともに臨床研究を行います。Dコースは当科と関連病院で各種研修を行い、その後専門医資格を取得しますが、この間の臨床経験を臨床研究論文として提出することで論文博士の取得も可能です。

どのコースの修了後(概ね卒後10年以降)も、各自の将来構想により、当教室に戻り後輩の指導と研究を行い大学呼吸器内科の指導者を目指す者と、関連病院で呼吸器内科指導医として研修医・後輩の指導をする者とに分かれます。

● 各種学会認定専門医数

日本呼吸器学会呼吸器専門医: 44人  
日本アレルギー学会アレルギー専門医: 11人  
日本感染症学会感染症専門医: 7人  
日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医: 2人

● 各種学会認定指導医数

日本呼吸器学会指導医: 21人  
日本アレルギー学会アレルギー指導医: 2人  
日本感染症学会指導医: 1人  
日本呼吸器内視鏡学会指導医: 2人

● 各種学会専門医修練施設としての認定

日本呼吸器学会認定施設  
日本アレルギー学会認定教育施設  
日本感染症学会認定施設  
日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医制度認定施設



# N専門研修案内2011

新潟大学医歯学総合病院  
Niigata University Medical & Dental Hospital



な  
り  
た  
い  
自  
分  
に  
ナ  
ル。

